

これからの司法制度と 司法書士制度を考える

シンポジウム

平成16年12月までの間に、各国会において24本の法律案が可決・成立した一連の司法制度改革から約20年が経過しました。近年では、令和8年度までに施行される民事裁判のIT化や令和10年度の施行に向けて準備が進められている家事・倒産・執行手続等のIT化、生成AIをはじめとするデジタル技術の進展等、司法制度を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような社会の大きな変革期にあって、国民に身近な暮らしの中の法律家としての司法書士が、司法制度改革がもたらした現状を確認し、また、これからの司法制度のあり方について議論し発信していくことは、国民の司法アクセス向上に寄与するとともに、将来の司法書士制度を検討するにあたっても必要なことであると考えます。

そこで、裁判IT化や生成AIをはじめとするデジタル技術が将来の司法制度に与える影響を考察し、その他、様々な視点から将来の司法制度や司法書士制度のあり方を検討するために、本シンポジウムを開催いたします。

開催日時

令和7年 **3月8日(土)**
午後1時から午後5時まで

参加方法

Zoomウェビナーによる視聴

対象者

どなたでもご参加いただけます

定員

950名

プログラム

裏面参照

参加費

無料



日本司法書士会連合会
公式キャラクター「しほ〜しし」®

申込方法

以下URL又は二次元バーコードからお申し込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_cGEjQ8N3Q30kFlupd57lBQ

申込期限▶ なし ※定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただきます。



これからの司法制度と司法書士制度を考える

シンポジウム

日時	時間	内容
令和7年3月8日 (土)	12:30	12:30 よりサイトへの接続可能
	13:00	開会の挨拶 (日本司法書士会連合会会長 小澤 吉徳)
	13:05	第1部 報告
	(50分)	テーマ 司法制度改革の現状と課題 (仮) 登壇者：吉岡 大地 (日本司法書士会連合会司法制度シンポジウム対応 PT 委員) 半田 久之 (日本司法書士会連合会司法制度シンポジウム対応 PT 委員) 馬場 健一 (神戸大学大学院法学研究科教授)
	13:55	休憩 (5分)
	14:00	第2部 基調講演
	(60分)	テーマ DX・AI が司法制度へ与えるインパクトと法専門家に求められる対応 (仮) 登壇者：石田 京子 (早稲田大学法学学術院 (大学院法務研究科) 教授)
	15:00	休憩 (5分)
	15:05	第3部 パネルディスカッション
	(110分)	テーマ これからの司法制度を考える (仮) パネリスト：石田 京子 (早稲田大学法学学術院 (大学院法務研究科) 教授) 馬場 健一 (神戸大学大学院法学研究科教授) 内田 雅之 (日本司法書士会連合会常任理事) 阿部健太郎 (日本司法書士会連合会司法制度シンポジウム対応 PT 委員) コーディネーター：磯崎 耕輔 (日本司法書士会連合会司法制度シンポジウム対応 PT 委員)
16:55	閉会の挨拶 (日本司法書士会連合会理事 渡邊 敬子)	
17:00		

注意事項

- プログラムについては予定であり、一部変更の可能性がございますのでご了承ください。
- 申込は先着順での受付とさせていただきます。
- 視聴する機器にZoomをインストールしてください。
- 通信料は視聴者のご負担となりますのでご了承ください。
- 本シンポジウムにつきましては、下記日本司法書士会連合会ホームページでもご案内しております。
また、本シンポジウムで使用する資料についても、シンポジウム開催日までに下記ホームページに掲載予定です。
<https://www.shiho-shoshi.or.jp/other/topics/event/58942/>

